

ゼラチン残さ 廃棄ゼロへ

中日本カプセル 来期達成目指す



液体に加工したゼラチンネット



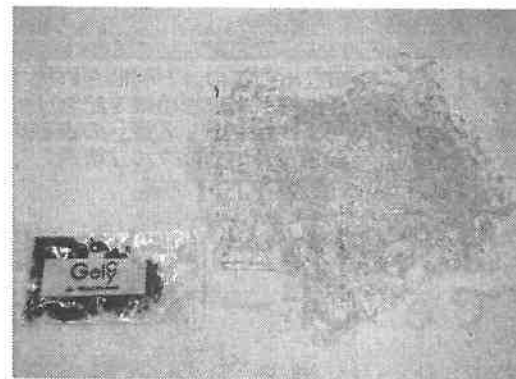
山中利恭社長

液体やチップに加工、窒素肥料に

サプリメントなど健康食品を受託生産する中日本カプセル(本社大垣市荒尾町2-29の2、山中利恭社長、電話0584・93・1013)は、ソフトカプセルの製造工程で発生するゼラチン残さ(ゼラチンネット)の再利用を加速する。ゼラチンネットは窒素を7%以上含んでおり、農作物の肥料として再利用できることから、液体やチップ状に加工して肥料メーカーに納入している。前期(2021年10月期)は発生量の約50%を再利用したが、これを今期中に80%、来期に100%に高め、廃棄ゼロを目指す方針だ。

(西濃・春田昭継)

同社ではこのゼラチンのリサイクルを「ゼライクル」と名付け、SDGs(持続可能な開発目標)活動の一つとして取り組んでいる。健康食品などのソフトカ



ゼラチンネット(右)とチップ状に加工した製品

プセルは、原料のゼラチンをシート状に加工し、製品部分を型抜きする。その残りがゼラチンネットで、月間約20ト発生している。従来は一部を「にかわのり」に加工する以外は焼却処理していた。

廃棄物として処理されるゼラチンネットの量を削減し、環境負荷を軽減するため、同社ではゼラチンネットを加工して、肥料メーカーに提案してきた。「窒素の含有率が安定しており、100%天然由来で安全性が高い」(山中社長)ことから、採用する肥料メーカーは10社以上に増加。再利用拡大にめどを付けた。

このため、来期には発生するゼラチンネット全量を再利用に回し、廃棄ゼロを目指す。山中社長は「こうしたSDGs活動を、事業の中でさらに広げていきたい」と話している。



- 岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通 1-12
岐阜中日ビル8階
電話 058(266)7576
FAX 058(262)6571
- 東濃支局
多治見市上野町 1-75
日映マンション III602
電話、FAX兼用 0572(23)7812
- 西濃支局
大垣市室本町2の39竹中ビル203号
電話、FAX兼用 0584(75)1289